

郷土を知る 昔々の そお市

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

第65回

たからべぶっしょういん
財部仏性院と
おしょう
その和尚の話

龍

虎城跡(城山公園)の北側には、かつて小牧山法嚴寺仏性院と

いう真言宗の寺がありました。室町期の応永年間に僧舜海が開基したといいますが、元禄7年(一六九四)に火災に遭い詳細な記録が失われ、明治期の廃仏毀釈で廃寺となりました。

資料の少ない寺ですが、この和尚は、たびたび財部の歴史舞台に登場します。

一つ目は七村で語り継がれている桑山刑部と小少将の悲恋の物語です。桑山達が危機に瀕していることを聞いた和尚は、二人を救おうと馬に跨り桜馬場の桜の枝を折って鞭とし、現地に急行しました。しかし二人は自刃した後で、和尚は無念のあまり、その枝を地面に突き刺し帰ります。やがて、その枝は活着し、大樹となり人々の目を楽しましたといいます。

二つ目は昔、七村の帝釈池に大蛇が住み、毎年村の娘が生贄にされていた。これを知った和尚は自分が退治しようとい池に向かって呪文を唱え、印を結びます。すると七又の角を持った大蛇が池から飛び出し、高之峯の奥深くに消えました。現在、金峯神社の敷地内に、蛇王権現と呼ばれる大岩があり、その物語を今に伝えます。



アクセス

これら物語に登場する心優しき和尚の名前は伝わっていませんが、現在は仏性院自治会として寺名は残り、周囲には天文14年(一五四五)の五輪塔や、近世墓・僧墓等が現存し、天保14年(一八四三)編纂の『三国名勝図会』には、在りし日の寺の姿が描かれ、往時をしのばせています。

また末吉歴史民俗資料館では、文化7年(一八一〇)のものと思われる仏性院ゆかりの木像を展示していますので、ぜひご覧ください。

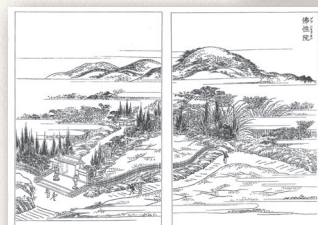
曾於市史編さん情報局

曾於市にゆかりのある資料・写真・情報をお持ちの方は生涯学習課までご連絡ください。



最近、ご提供頂いた志布志線開通時に末吉で奉納された六町の棒踊りの写真です。このように昔の写真をお持ちの方は、ぜひお知らせください。

仏性院跡



『三国名勝図会』に描かれた仏性院